

「2012年3月期 第2四半期累計期間 決算説明会」 質疑応答

Q1)中国における上期の売上高が計画を下回っている要因を教えてください。また、ユーザーの投資動向について教えてください。

A1)中国の上期売上高の実績は12億円でしたが、中国は例年下期偏重型であるため、通期予想の50億円は達成できる見込みです。

現在中国の金融機関は設備投資に積極的で、今後は沿岸部から内陸部への出店が進み、店舗数は増加することを予想しています。

Q2)海外市場の利益率が低下している要因を教えてください。

A2)新製品の開発費用や、新興国(インド、インドネシア、ブラジル等)の市場開拓のための投資が増加しているためです。

Q3)今年度は「2011中期経営計画」の最終年度ですが、当初目標と比べて売上高が増減した要因を教えてください。

A3)乖離した大きな要因は、リーマンショックや欧州債務問題等で欧米の金融機関の設備投資が抑制されたことです。アジアでは中国をはじめ新興国が成長しましたが、欧米の落ち込み分をカバーできませんでした。尚、国内の各セグメントは、ほぼ計画通りの着地見込みです。

Q4)中国を除くアジアでの主な販売先を教えてください。

A4)中国に次ぐ市場規模を誇るインドが急成長し、続いてインドネシア、その他ASEAN諸国の売上も伸びています。インドでは正損選別のニーズが高く、入札案件が増加しています。また、インドネシアでは急速な経済発展に伴い紙幣の流通量が増加し、機械化ニーズが高まっています。

Q5)コンビニエンスストアや飲食店でのレジつり銭機の受注状況はいかがでしょう。

A5)現在、一部のコンビニエンスストアで試行しており、来期以降の導入が期待されます。

飲食店関連では、ファミリーレストランやコーヒーショップのチェーン店でご採用いただき、現在納入中です。

Q6)今期の研究開発投資額の増加要因を教えてください。

A6)近年は年間90億円前後で推移していましたが、今期は国内外の新製品に関する開発経費が増加したため、通期予想を100億円に修正しました。

Q7)カジノへの販売状況について教えてください。

A7)アメリカをはじめ、シンガポール、マカオのカジノでキオスク端末や紙幣整理機などの需要があります。仮に日本にカジノが開設された場合、通貨処理機やセキュリティ関連製品などの需要が発生すると思われます。